

保育学科

教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組

保育学科ではひとりの学生を全教員が見守り、支え、指導する「全員指導体制」を敷いています。そのため、教員の連携により、当該学生に不足しているものをいち早く発見し、教員間で情報共有することで、学生の指導に役立てています。

また、専門科目には全教員が担当する授業（オムニバス形式）を取り入れています。授業を担当する教員は指導案を作成して全教員に配布し、それ以外の教員は授業を補助することで、細やかな指導を実現しています。全教員が参加するため、研究授業の様相を呈し、授業内容や方法に関しても意見交換をすることで、教育の質の向上を実現しています。

他の授業においても学科教員が参観することで、授業内容や方法の確認、意見交換を実施しています。